

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期「三ガク都」松本シンカ推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

長野県松本市

3 地域再生計画の区域

長野県松本市の全域

4 地域再生計画の目標

本市は、長野県のほぼ中央に位置し、東部には、標高2,000mの美ヶ原高原を望み、西部には標高3,000m級の峰々が連なる北アルプスの山岳が広がる等、日本の屋根と言われる山岳地帯から松本平と呼ばれる肥沃な盆地まで、変化と魅力に富んだ多彩な地勢に構成されている。

3,000m級の峰々が連なる日本アルプスを擁し、多くのアルピニストを迎える『岳都』、バイオリンの調べやセイジ・オザワ 松本フェスティバルに代表される『楽都』、古くから学問を尊ぶ進取の気質あふれる『学都』。こちいれらを、松本が持つ魅力やポテンシャルを表す言葉として「三ガク都」と称し、松本らしさを象徴するものとして広く浸透している。

本市の人口は、2002年の244,603人をピークに、緩やかな減少傾向が続いている。国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）の推計によると、今後も人口減少は続き、2050年には20万人台になる見通しとなっている。

年齢区分別では、年少人口と生産年齢人口は一貫して減少する一方、老年人口は増加し続けており、2025年の高齢化率は29.0%となっている。社人研の推計では、その後も上昇を続け、2050年には37.3%に達する見込みとなっている。

自然動態をみると、2010年に初めて死亡数が出生数を上回り、自然増から自然減へと転じた。その後は、出生数の減少と死亡数の増加が続き、自然減の幅は拡大している。2024年には、出生数が1,500人を下回る一方で、死亡数はその約2

倍となる 3,000 人近くに達し、人口減少の最大の要因となっている。

合計特殊出生率は、最も低かった 2003～2007 年の 1.44 から徐々に回復し、2013～2017 年には 1.56 となったが、2018～2022 年には再び 1.44 まで低下し、過去最低水準に戻っている。

また、合計特殊出生率の算出に用いられる「15～49 歳女性人口」は、2010 年以降減少が続いており、2023 年までの 13 年間で約 15%減少している。女性 1 千人当たりの出生数は、2016 年までは 40 人台前半で推移していたが、2017 年に 38.2 人に大きく落ち込んで以降、減少傾向が続いており、2023 年までの 13 年間で約 23%減少している。

社会動態をみると、転入者と転出者ともに、2000 年以降急減し、2010 年以降はおおむね 9,000 人から 10,000 人の間を推移している。2021 年以降は転入超過となり、2022 年には過去 30 年間で最も多い 829 人の転入超過となったが、1,000 人を超える自然減数を補うことはできず、人口減少を食い止めるほどの規模には至っていない。

年代別の純移動数（転入数－転出数）は、男女ともに大学等への進学期である 10 代後半の転入超過が顕著であり、就職期を迎える 20 代前半に転出超過傾向がみられる。10 代後半の転入超過は県内他市ではみられない傾向であり、本市の特徴といえる。過去の推移と比較すると、この 5 年間で、10 代後半の転入超過傾向は高まっており、30 代から 50 代においても転入超過に転じている。一方で、20 代後半では転入超過から転出超過に転じている。

少子高齢化と人口減少が進行する中で、最大の課題は、いわゆる逆三角形の人口ピラミッドに示される人口バランスの不均衡にあり、こうした歪みが、医療費や社会保障費の増大に対する支え手の不足、現役世代の負担増等、様々な社会的課題の要因となっている。

これらの現状を踏まえ、本市では、出産の希望実現と社会増を通じて、世代間のバランスが取れた状態を「人口定常化」と定義した。2040 年までに一定の規模と安定した人口構造を実現し、特に 65 歳未満の人口を平準化し持続可能な社会の基盤を確保することを目標に掲げ、①出産の希望実現に向けた支援の強化、②若者と女性の移住・定住促進、③多様性を尊重した社会環境づくりを取組みの方向性とする。

これらの方向性のもと、本市では、「一人ひとりが豊かさと幸せを実感できるまち」、「松本の地域特性を最大限に活かした循環型社会」を目指すまちの姿に掲げ、本市のポテンシャルを活かし、三ガク都に象徴される松本らしさをシンカ（進化・深化）させるため、以下の3つの基本目標のもと、市民とともに取り組みを進める。

【基本目標】

- ① まちの土台になる「安全・安心」のシンカ
- ② まちの主役になる「ひと・地域」のシンカ
- ③ まちの豊かさになる「価値・魅力」のシンカ

なお、これらの推進に当たっては、「ゼロカーボン」と「DX・デジタル化」を社会変革の方向性を示す2つの重点戦略として位置付けるとともに、取り組みを強化すべき分野横断的な政策として、「若者と女性の挑戦と定着を支える社会基盤の構築」、「学都松本にふさわしい学び環境の充実」、「暮らしの質を高める都市機能の強化」、「新たな価値を創出する多様な産業の振興」の4つを重視する視点に位置付け、すべての施策を推進する。

【数値目標】

5-2の①に掲げる事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア、イ、ウ	今後も松本市で子育てしていきたいと思う、3歳までの子どもを子育て中の親の割合（乳幼児健診の際のアンケート）	95.4%	100%	基本目標 ①、②、③
ア、イ、ウ	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていると思う児童生徒の割	小学生 83.0% 中学生 83.1%	小学生 89.2% 中学生 89.3%	基本目標 ①、②、③

	合（全国学力・学習状況調査）			
ア、イ、ウ	若者チャレンジ応援事業補助 金申請件数	15件	30件	基本目標 ①、②、③
ア、イ、ウ	65歳未満の社会増減（転入者- 転出者）	106人	355人	基本目標 ①、②、③
ア、イ、ウ	松本デュアルスクール利用者 数（累計）	9世帯11人	15世帯20人	基本目標 ①、②、③
ア、イ、ウ	男は仕事、女は家庭と役割を分 けた方がよいと思う市民の割 合 （松本市男女共同参画・人権に 関する意識調査）	18.1%	15%未満	基本目標 ①、②、③
ア、イ、ウ	松本駅周辺のパブリックスペ ースの滞在者数（平日）	19人/時間	25人/時間	基本目標 ①、②、③
ア、イ、ウ	製造業等活性化支援事業助成 金活用件数	6件	10件	基本目標 ①、②、③
ア、イ、ウ	結婚や出産に関わらず、仕事を 続けている女性の割合 （松本市男女共同参画・人権に 関する意識調査）	28.2%	38.0%	基本目標 ①、②、③
ア、イ、ウ	スタートアップ推進事業を活 用して起業した事業者数（累計 ）	0者	12者	基本目標 ①、②、③
ア、イ、ウ	国内旅行者1人当たり宿泊時 観光消費額	52,685円	55,840円	基本目標 ①、②、③
ア、イ、ウ	訪日外国人旅行者1人当たり 宿泊時観光消費額	44,582円	47,120円	基本目標 ①、②、③

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期「三ガク都」松本シンカ推進事業

- ア まちの土台になる「安全・安心」のシンカにつながる事業
- イ まちの主役になる「ひと・地域」のシンカにつながる事業
- ウ まちの豊かさになる「価値・魅力」のシンカにつながる事業

② 事業の内容

ア まちの土台になる「安全・安心」のシンカにつながる事業

安全・安心で健やかに暮らし続けるために、未来に続く、しなやかなまちをつくる事業

【具体的な事業】

- ・住民自治の活性化支援
- ・温室効果ガスの排出量削減の推進
- ・水と緑を活かした魅力あるまちづくり
- ・防災・減災対策の推進 等

イ まちの主役になる「ひと・地域」のシンカにつながる事業

ひとや地域の新たなチャレンジを後押しするために、共に育み、支え、学び続けることのできるまちをつくる事業

【具体的な事業】

- ・個性と多様性を尊重する学校教育の推進
- ・若者が活躍できる環境づくり
- ・生涯を通じた健康づくりの推進
- ・若者・子育て世代の移住・定住促進 等

ウ まちの豊かさになる「価値・魅力」のシンカにつながる事業

新たな価値や魅力を創出するために、ひとや地域のポテンシャルを最大限に活かしたまちをつくる事業

【具体的な事業】

- ・新商都松本の創造
- ・地域特性を活かした新産業の創出
- ・豊かさを育む文化芸術の推進
- ・変化する時代に対応した観光戦略の推進 等

※ なお、詳細は第3期松本版地方創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

30,849,750 千円（2026年度～2030年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度6月頃に外部委員で構成する検証機関による評価・検証を行い、検証後速やかに本市ホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで